

当院の救急医療について



当院は地域医療支援病院として救急医療に力を入れており、主に相楽中部消防組合消防本部、精華救急本部からの依頼による患者様や、地域の医療機関からの紹介による緊急性が高い患者様の受け入れを行っています。救急医療の現場

では、救命のため、医師、看護師、検査技師、臨床工学技士などの多職種が治療にあたっています。

また、地域の救急医療体制の充実を図るため、相楽消防組合消防本部、精華救急本部と定期的に事例検討会も行っています。



認知症疾患医療センターの役割



当院は平成26年、京都府より認知症疾患医療センターの指定を受け、今年で10年になりました。認知症疾患医療センターでは、医師による認知症の鑑別診断や、社会福祉士・公認心理師による医療福祉相談などを行っています。また、地域支援の一環として地域に出向き、当院の医師や社会福祉士などの専門職が、認知症カフェなどで講演を行ったり、認知症のご相談に応じています。



認知症新薬レカネマブについて

令和5年は、認知症治療において大きな転機を迎えた年です。同年6月に成立した認知症基本法は、認知症の予防や早期発見、治療を社会全体で支援する枠組みを強化しました。

この法律の成立と同時期に、アルツハイマー病の新薬であるレカネマブも登場し、認知症治療に新たな可能性が広がっています。レカネマブは、症状が軽度な段階で使用することで、認知症の進行を遅らせる効果が期待されています。しかし、この治療効果を最大限に生かすためには、早期発見が不可欠です。本人だけでなく、周囲も普段の生活で物忘れや判断力の低下を感じたら、迷わず医療機関に相談してください。できるだけ長く自立した生活を維持するために、認知症を早期に知り、適切な対策をとることが重要です。

(脳神経内科部長 大島洋一)

認知症疾患医療センター直通

☎0774-72-6363

認知症やもの忘れについてお困りごとがありましたら、認知症疾患医療センターまでご連絡下さい。

京都山城総合医療センター



やましろタイムズ

Yamashiro Times



第70号

令和6年秋

Thank you!! わくわくサマーフェスタ2024を開催しました

2024.8.4 sun

イベントを通じて地域住民の皆様と交流ができ、私たちスタッフもとても楽しい時間になりました。暑い中、足を運んでくださった皆様ありがとうございました。

1、2階フロア

自助具作成やオリジナルトートバッグ作りをはじめ、6つのブースをご用意しました。



オリジナルトートバッグ作りのブースはお子様にも大人気でした。



たくさん種類がある自助具の使い方をレクチャー

9階フロア

ベビーマッサージ、親活サロン、育児プレ体験のブースをご用意しました。

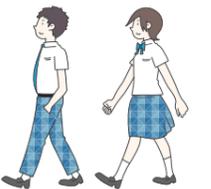


気持ちよさそうにマッサージを受ける赤ちゃんの姿がとても微笑ましく癒されました。



4年ぶりの対面開催となった親活サロンの医師や助産師の話に熱心に耳を傾ける姿が見られました。

医療の現状と課題について理解する



8月、高齢者を中心とした医療の現状と課題についての学習のため、嵯峨野高校の2年生3名が来院されました。

社会構造の変化（高齢化の加速や独居高齢者の増加）や医療財政の逼迫に伴う国の施策（在院日数の短縮、在宅医療の推進など）、意志決定支援の重要性について話をさせていただきました。

少し難しかったかもしれませんが、病院まで足を運んでくれ、熱心に耳を傾けてくれた彼等の

ことですので、きっと自分達の中で理解を深めてくれるのではないかと考えています。

(地域医療連携室)



来院された嵯峨野高校の皆さん

令和6年度腎臓病教室を開催します



地域住民の皆様と専門職の方を対象に、当院腎センター主催による第3回腎臓病教室を開催いたします。今回は「腎臓と貧血」をテーマに腎臓病と貧血の関係について、腎臓内科医と薬剤師による講演と腎センター看護師による寸劇（動画）を予定しています。

この機会に正しい知識を学び、ご自身やご家族の健康管理にお役立てください。開催形式は、会場とオンラインでのハイブリッド形式になります。会場参加の場合は定員に限りがございますので、お早めにお申込みください。

第3回
腎臓病教室

『健康な時から考えましょう。大切な腎臓を守るための講座』

テーマ **腎臓と貧血**



参加
無料

日時

令和6年**11月2日**（土）
午後1時30分～午後3時

開催形式

ハイブリッド（会場+オンライン）

会場

京都山城総合医療センター9階
会議室

内容

講演1.<医師>
慢性腎臓病に伴う貧血

講演2.<看護師>（動画による寸劇）
腎臓と貧血の関係について学びましょう
～腎臓が悪くなるとなぜ貧血になるのか～

講演3.<薬剤師>
慢性腎臓病の薬の扱いについて

お申込み

こちらの二次元コードより
お申込みください。



申込締切 令和6年**10月24日**（木）

「木津川市 木の津まつり」に参加します 災害時に慌てないために

11月10日に開催される木の津まつりでは、地域住民様を対象に、近年の激甚化災害に備えた具体的な行動を学ぶ「防災ワークショップ」を行います。特にご家族連れや高齢者の方々の参加をお勧めします。

午前のイベントでは、我が家の災害時持ち出し袋を作成し、必要な物品をリストアップします。また、防災グッズの紹介も行います。午後のセッションでは、「災害時の避難計画の重要性」をテーマに、避難計画の立て方や実際の事例を紹介します。家族で話し合い、避難経路や集合場所を決める機会も設けています。

イベントを通じて、防災意識を高め、安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう！皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**木の津まつり
「防災ワークショップ」**

日時 11月10日（日）
午前10時～午後3時30分まで

場所 木津川市中央体育館内

主催 木津川市木の津まつり
実行委員会

今だから始める、フレイル予防体操！

コロナ禍や夏の外出控えで活動力が低下している方へ

コロナ禍やこの夏の猛暑の影響で、外出を控えておられる方も多かったのではないのでしょうか。外出控えなどで活動性が低下すると、フレイル（虚弱）になりやすくなります。フレイルは、「加齢により心身が老い衰えた状態」とされていて、フレイルになると、風邪が治りにくかったり、転倒しやすくなったりします。

今回は、フレイル予防体操をご紹介します。二次元コードをご自身のスマートフォンやタブレットで読み込んでいただくと動画をご覧になれます。

すべてを行うと負担が大きい方もおられますので、無理のない範囲でご自身に応じた動作1つ又は2つから実施されてはいかがでしょうか。

なお、手術の既往歴がある方やご病気を持っておられる患者様は、体操の前に主治医にご相談の上、行って下さい。

動画は、無断で転用したり複製することはお控え下さい。



フレイル予防体操動画は
こちらの二次元コードで再生！

運動不足の解消
フレイル予防に
始めてみませんか？



登録医紹介

当院では、地域のかかりつけ医との連携診療をすすめています。
「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させていただきます。

くろだクリニック 木津川市 診療科：内科・小児科・消化器内科 院長：くろだ まさあき 先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	-	○	○	-
16:30～19:00	○	○	○	-	○	-	-

休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

お子様からご年配の方まで、信頼される地域のかかりつけ医として総合的な診療を行っています。また、苦痛の少ない胃・大腸カメラの検査も可能です。お気軽にご来院、又はご連絡ください。

〒619-0218 京都府木津川市城山台7-43-3
TEL: (0774) 73-0255

藤川医院 木津川市 診療科：内科 院長：ふじかわ まさよ 先生 医師：ふじかわ みえ 先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:30	○	○	-	○	○	○	-
17:00～19:00	○	○	-	○	☆	-	-

休診日：土曜日午後・水曜日・日曜日・祝日
☆：18:00～20:00

西木津駅近くで昭和56年に開院し、現在は娘と2人で幅広い内科診療を心がけています。患者様のお話をよく聞いて、一人一人に合わせた診療を通じて、皆様が笑顔で日常生活を送れるようにお手伝いできればと思っています。お困りの事があればお気軽にご相談ください。

〒619-0222 京都府木津川市相楽川ノ尻81-1
TEL: (0774) 72-5811

華クリニック 木津川市 診療科：産婦人科・女性内科（思春期・不妊症・更年期・乳房管理） 院長：やなぎはな 先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	-	○	○	-
16:00～18:00	○	○	-	-	○	-	-

休診日：水曜日午後・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
○：予約制

2008年8月から産婦人科・女性内科で開業しています。思春期から成熟期、更年期、老年期に至るまで女性特有の体の不調や悩みにこたえられるようにスタッフ共々精進してまいります。オンライン診療も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

〒619-0224 京都府木津川市兜台4丁目3-9
TEL: (0774) 72-2747